

授業科目	*ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)				単位	2		
履修	必修	関連資格	社会福祉士 保育士		ナンバリング	WE21206J		
開講年次	1	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP2-2 DP3-1 DP3-2 DP4-1 DP4-2			
担当教員	今村 浩司							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>現代社会の福祉ニーズは、多様化する社会と変化の激しい時代の中で、複雑化しているのが現状となっています。それに対応する福祉専門職(ソーシャルワーカー)である社会福祉士や精神保健福祉士等は、幅広い視野と多面的な視点等の確かな力が求められています。</p> <p>そこで本講では、医療機関や矯正施設においてソーシャルワークの実践活動を展開してきた実務家教員として、1年前期に開講した「ソーシャルワークの基盤と専門職」の内容を踏まえた上で、相談援助(ソーシャルワーク)を実践してきた実務家教員として、現場において福祉専門職(ソーシャルワーカー)としての社会福祉士や精神保健福祉士等に求められる役割、倫理、倫理、連携等を、具体的事例を提供して解説します。さらには、よりリアリティ感を高めるため、社会福祉士専門職団体等から外部講師を招聘して、社会福祉専門職の現状と魅力を伝えてもらう予定です。</p> <p>本講の理解度を確認するために、講義内において、確認テスト(小テスト)を行います。</p> <p>なお、授業の運営方法については、対面講義が困難な場合等は、ウェブ等を使用する講義等に変更して実施することもあります。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1, 総合的かつ包括的な援助と多職種連携について理解し説明できる。</p> <p>2, 相談援助の各専門領域における活動や意義について説明できる。</p> <p>3, 臨床的な相談援助について説明できる。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合/ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	50	20	10	0	0	20	100	
知識・理解 (DP1-1)	20	5					25	
知識・理解 (DP1-2)	20	5					25	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	5	5	5				15	
思考・判断 (DP2-2)	5	5	5				15	
関心・意欲 (DP3-1)						5	5	
関心・意欲 (DP3-2)						5	5	
態度(DP4-1)						5	5	
態度(DP4-2)						5	5	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
1. 社会福祉士、精神保健福祉士の役割と意義について、理解したうえで説明できる。 2. 相談援助に係る専門職と専門職倫理について、理解したうえで説明できる。				1. 社会福祉士、精神保健福祉士の役割と意義について、説明できる。 2. 相談援助に係る専門職と専門職倫理について、説明できる。				

3. 総合的かつ包括的な援助と多職種連携について、理解したうえで説明できる。		3. 総合的かつ包括的な援助と多職種連携について、説明できる。		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション 相談援助(ソーシャルワーク)の理念① 権利擁護が必要とされる背景および権利擁護の定義について解説する。	講義	講義範囲のテキスト事前通読	30分
2	相談援助(ソーシャルワーク)の理念② クライアントの尊厳と自己決定、自立支援、エンパワメント、ストレングス視点について解説する。	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
3	相談援助(ソーシャルワーク)の理念③ ノーマライゼーションと社会的包摂について解説する。(外部講師)	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
4	相談援助(ソーシャルワーク)における権利擁護の意義 相談援助における権利擁護の概念と範囲について解説する。	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
5	専門職倫理 専門職倫理の概念および倫理綱領について解説する。	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
6	倫理的ジレンマ ソーシャルワーク実践における倫理的ジレンマについて解説する。	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
7	総合的かつ包括的な援助① ジェネラリストの視点に基づく総合的かつ包括的な援助の意義について解説する。	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
8	総合的かつ包括的な援助② 地域を基盤としたソーシャルワークについて解説する。	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
9	総合的かつ包括的な援助③ 総合的かつ包括的な相談援助の基礎理論について事例を用いて解説する。	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
10	相談援助(ソーシャルワーク)に係る専門職の概念と範囲① 相談援助専門職の概念および福祉行政における専門職について解説する。(外部講師)	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
11	相談援助(ソーシャルワーク)に係る専門職の概念と範囲② 民間施設・機関における専門職および諸外国の動向について解説する。	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
12	総合的かつ包括的な相談援助(ソーシャルワーク)における専門的機能① 総合的かつ包括的な相談援助における専門的機能の展開について事例を用いて解説する	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
13	総合的かつ包括的な相談援助(ソーシャルワーク)における専門的機能② 総合的かつ包括的な相談援助における専門的機能の展開について事例を用いて解説する	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分

14	総合的かつ包括的な相談援助(ソーシャルワーク)における専門的機能③及び総まとめ ジェネラリストの視点に基づく多職種連携について事例を用いて解説する。	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
15	ソーシャルワークの基盤と専門職の講義全体についての総まとめ及び質疑応答。	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27	。			
28	。			
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	社会福祉士や精神保健福祉士の社会福祉専門職の具体的なイメージを深めるために、公益社団法人日本社会福祉士会や、公益社団法人日本精神保健福祉士協会のウェブサイトをおらかじめ閲覧しておいてください。			
テキスト	社会福祉士・精神保健福祉士のカリキュラム改正時期のため教科書選定中 「コメディカルのための社会福祉概論」(第4版) 鬼崎信義、本郷秀和編 講談社 「社会保障」川村匡由編著 ミネルヴァ書房 (上記分に関しては、前期の「ソーシャルワークの基盤と専門職」(担当教員今村)の講義で使用した教科書を継続して使用します)			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	本学図書館の担当教員(今村)の指定図書。 月刊福祉や福祉新聞など。 講義の進行状況に応じて、適時紹介します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	社会福祉専門職の役割や業務は、計り知れないほど奥が深いものです。まずは、社会福祉士や精神保健福祉士等の、「社会福祉専門職になる」という、何よりも強い心構えを持って講義に臨んでください。 授業で学んだ内容については、ノート等を活用して整理して下さい。また、毎回講義の導入部分で、社会福祉に関するトピックスを提供しますので、新聞やインターネット、文献等を用いて必ず理解を深めて下さい。			

達成度評価に関するコメント	試験、小テスト、レポート、講義貢献度にて評価します。その他については、具体的な実践場面を想定した実技指導(ロールプレイ等)やグループワークの内容、積極性や参加意欲も併せて評価します。
---------------	---